

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(保育所)

1 評価機関

名 称	株式会社アミュレット
所 在 地	東京都中央区銀座5-6-12 bizcube7F
評価実施期間	令和1年 11月 8日～令和 2年 3 月 31日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	社会福祉法人 江戸川豊生会 愛和元町保育園 シャカイフクシハウジン エドガワハウセイカイ アイワモトマチホイクエン		
所 在 地	〒279-0041 千葉県浦安市堀江5-20-11		
交通手段	東京メトロ東西線 浦安駅より徒歩15分		
電 話	047-353-5410	F A X	047-353-5411
ホームページ	http://e-houseikai.or.jp/		
経 営 法 人	社会福祉法人 江戸川豊生会		
開設年月日	平成23年4月1日		
併設しているサービス	一時預かり保育 地域子育て支援センター		

(2) サービス内容

対象地域									
定 員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計		
	20	27	29	31	31	32	170		
敷地面積	1863.92㎡			保育面積			635.95		
保育内容	0歳児保育	○	障害児保育	○	延長保育	○	夜間保育		
	休日保育	○	病後児保育		一時保育	○	子育て支援 ○		
健康管理	小児科医による内科検診、歯科検診（年2回）								
食 事	昼:完全給食 離乳食 アレルギー対応								
利用時間	月～土7:00～20:00 休日7:00～18:00								
休 日	12月29日～1月3日								
地域との交流	夏祭り、運動会等に招待。近隣のこども園小学校と交流会								
保護者会活動	父母会を年3～4回開催し話す機会を設けている。								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	34	30	64	
専門職員数	保育士	看護師	栄養士	
	43	2	2	
	保健師	調理師	その他専門職員	
		7	2	
	事務員	保育補助		
	3	5		

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	浦安市役所 子ども部保育幼稚園課 認定・入園係で手続き		
申請窓口開設時間	8時30分～17時00分		
申請時注意事項	申込身に必要な資料については、申込書や調査書等の基本資料だけでなくご家族の状況によって別途ご用意いただく物もあります。詳しくはお問い合わせください		
サービス決定までの時間	新年度の入園案内は11月にホームページ、『広報うらやす』で掲載されます。		
入所相談	浦安市役所直通Tel047-712-6439 代表電話Tel047-353-1111		
利用代金	上記代金に含まれます。		
食事代金	0.1.2歳児は保育料に含む。3.4.5歳月額4500円		
苦情対応	窓口設置	設置済み	
	第三者委員の設置	設置済み	

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

<p>サービス方針 (理念・基本方針)</p>	<p>こどもたちにとって大切な生活リズムを整え集団保育と家庭保育の連携で乳幼児の人格形成の大きな時期を保護者保育者が互いに手を取り合って保育を進めていく。</p>
<p>特 徴</p>	<p>3歳以上児は、外部の専任講師を招いて、体操、英語、リトミック、絵画を取り入れている。保育園内に一時預かり保育、延長保育、子育て支援センターでは多種多様なイベントを開催している。</p>
<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>最近では恵まれた環境の中、大規模な保育園での良さを生かし、外遊びを積極手に取り入れ、園庭、テラス近隣の公園の散歩を主活動としている。こどもの中でこどもが育つ環境を大切にしている。明るく広々とした施設で職員も子供をのびのびと生活しています。行事も定着しており、親子で楽しめるように相違工夫しています。保育中に行う食育活動も盛んに行い、園児は年間を通して様々な体験をしています。</p>

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
<p>職員一人ひとりの日々親切かつ丁寧な対応は子どもの安心感につながっており、保護者満足度も高い結果となっています</p>
<p>職員育成に向けた取り組みでは、園内外の研修を中心に職員のスキル向上に努めているほか、「目標チャレンジシート」、「目標達成状況シート」による目標管理制度を導入し計画的な育成に努めています。目標の達成に向け計画的に取り組む仕組みが整っていることで職員のやる気や働き甲斐の向上につながっています。そうした成果が着実に表れており、子ども達とも常時笑顔で接している姿や来訪者への挨拶なども徹底できています。保護者アンケートの自由意見からも職員の対応についてとてもやさしく尊敬できることや親身に話を聞いてくれるなど好意的な意見が散見されています。今年度は法人内に人材育成委員会が発足し、人材育成に向け法人全体で職員育成に力を入れて取り組んでいます。</p>
<p>食育の年度計画に基づき毎月食育の日を設けているほか、行事食を始め、食に興味を持てるような前向きに取り組んでいます</p>
<p>食育の年度計画に基づき毎月食育の日を設けているほか、毎月各年齢児に応じて食育活動計画を作り、子ども達が季節の食材に触れたり、季節の行事に関連した調理を行い食事を作ることの大切さ、大変さ及び楽しさに気づくことができるように取り組んでいます。5歳児が4歳児にふるまう「ふるまい給食」も毎年恒例とするほか、夏場にはプランターを活用しての野菜栽培なども食育につなげています。また行事食を始め、食に興味を持てるような前向きな取り組みは保護者にも伝わっており、保護者アンケートの食への取り組みや関心についての質問では肯定的回答割合が高い結果であり、保護者の満足度も高まっています。</p>
<p>異年齢児間との交流などを通じて豊かな経験をより多く取り入れていく事を基本的な保育方針にも掲げ、日々の保育の中で具現化しています</p>
<p>3、4、5歳児による毎週の仲良し会を定例化しているほか、ふるまい給食やおやつ作りで交流を図ったり、3歳児と5歳児、3歳児と4歳児で公園に出かける等、異年齢の交流を日常的に取り入れています。異年齢の交流を図ることで、自分よりも小さな子どもとの関りの中で育まれる思いや、大きなお兄さん、お姉さんとの関りの中で多くの事を学べる機会につながっています。特に園では異年齢児間との交流などを通じて豊かな経験をより多く取り入れていく事を基本的な保育方針にも掲げ、日々の保育の中で具現化しています。</p>
さらに取り組みが望まれるところ
<p>今後に向けては事業計画書の内容についても全体で周知できる取り組みがより強化できると良いと考えます</p>
<p>施設運営方針や法人理念5カ条については園内への掲示のほか職員入職時に説明し理解が深まるように取り組んでいます。また、今年度は理念5ヶ条について穴埋め方式でのテストを実施し共通理解が深まるように工夫した取り組みを取り入れています。また、園の年度計画については毎年事業計画を作成し、経営指針や施設運営方針、職員育成計画について明確にしています。今後に向けては事業計画書についても職員に配布する等、事業計画書の内容についても全体で周知できる取り組みがより強化できると良いと考えます。今後の取り組みを期待します。</p>
<p>不適切な関りの防止や職業倫理等についての勉強会やマニュアル作りなどを通じてさらに職員の意識が高まる取り組みについても期待します</p>
<p>守るべき法や規範、倫理等については就業規則に明記しています。就業規則は事務所に保管し職員の閲覧も可能としています。倫理及び法令遵守に関する研修については形式的とまでは至ってはいませんが、園内の保育改善委員会より日頃から不適切なケアを防ぐための注意を呼び掛けています。今後は不適切な関りの防止や職業倫理等についての勉強会やマニュアル作りなどを通じてさらに職員の意識が高まる取り組みについても期待します。</p>
<p>現在、園で整備している各種マニュアルについて作成日や改定日がより明確に示せていけると良いと考えます</p>
<p>「愛和元町保育園マニュアル」として各種業務等のマニュアルを整備しています。医務や保育に必要な各種マニュアルを職員間で分担して作成を進めたことで職員の理解も深まっています。必要時に活用できるように事務所に設置していつでも確認できるようにしています。今後に向けては各マニュアルの表紙等に作成日や改定した際にはいつ改訂したかについてを明記することで作成日や改定日がより明確になると考えます。今後の取り組みを期待します。</p>
<p>(評価を受けて、受審事業者の取組み)</p>
<p>第三者評価機関による専門的かつ客観的な評価結果を謙虚に尊重します。 本評価により課題や改善事項も明らかになりました。 日々の保育においては自信をもって引きつづき取り組み、継続できる環境を整えていきます。園児、保護者、職員が一層満足できるよう、職員一人一人が再確認し、手を取り合って努力していきます。</p>

福祉サービス第三者評価項目（保育所）の評価結果

大項目	中項目	小項目	項目	標準項目		
				■実施数	□未実施数	
I	福祉サービスの基本方針と組織運営	1 理念・基本方針	1 理念や基本方針が明文化されている。	3	0	
			2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	3	0	
			3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	3	0	
		2 計画の策定	4 事業計画を作成し、計画達成のための重要課題が明確化されている。	4	0	
			5 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	3	0	
		3 管理者の責任とリーダーシップ	6 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組みに取り組み指導力を発揮している。	5	0	
		4 人材の確保・養成	7 人事管理体制の整備	7 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	3	0
				8 人事方針を策定し、人事を計画的・組織的にを行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	4	0
			9 職員の就業への配慮	9 事業所の就業関係の改善課題について、職員（委託業者を含む）などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	5	0
			10 職員の質の向上への体制整備	10 職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	5	0
II	適切な福祉サービスの実施	1 利用者本位の保育	11 施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	4	0	
			12 個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	4	0	
			13 利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	4	0	
			14 苦情又は意見を受け付ける仕組みがある。	4	0	
		2 保育の質の確保	15 保育の質の向上への取り組み	15 保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、保育の質の向上に努めている。	3	0
			16 提供する保育の標準化	16 提供する保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	4	0
		3 保育の開始・継続	17 保育の適切な開始	17 保育所利用に関する問合せや見学に対応している。	2	0
				18 保育の開始に当たり、保育方針や保育内容を利用者に説明し、同意を得ている。	4	0
		4 子どもの発達支援	19 保育の計画及び評価	19 保育所の理念や保育方針・目標に基づき保育課程が適切に編成されている。	3	0
				20 保育課程に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	5	0
				21 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	5	0
				22 身近な自然や地域社会と関わるような取り組みがなされている。	4	0
				23 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	5	0
				24 特別な配慮を必要とする子どもの保育が適切に行われている。	6	0
				25 長時間にわたる保育に対して配慮がなされている。	3	0
				26 家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	3	0
				27 子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	3	0
				28 感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	3	0
		5 安全管理	29 食育の推進	29 食育の推進に努めている。	5	0
30 環境及び衛生管理は適切に行われている。	3			0		
31 事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	4			0		
6 地域	32 災害対策	32 地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	5	0		
		33 地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	5	0		
計				129	0	

項目別評価コメント

(利用者は子ども・保護者と読み替えて下さい)

標準項目 整備や実行が記録等で確認できる。 確認できない。

評価項目	標準項目
1 理念や基本方針が明文化されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理念・方針が文書(事業計画等の法人・事業所内文書や広報誌、パンフレット等)に明記されている。 ■ 理念・方針から、法人が実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた法人の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 ■ 理念・方針には、法の趣旨や人権擁護、自立支援の精神が盛り込まれている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園の理念や基本方針については事業計画書への明示のほか事務所、相談室などに掲示し職員に周知しています。保護者に対しては、玄関入口への掲示のほか、保育園のしおり、園だよりで伝えています。施設運営方針には子どもたちにとって大切な生活リズムを整え、集団保育と家庭保育の連携で乳幼児の人格形成の大切な時期を保護者及び保育者が互いに手を取り合って保育を進めていくという思いを盛り込み策定しています。</p>	
2 理念や基本方針が職員に周知・理解されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理念・方針を事業所内の誰もが見やすい箇所に掲示し、職員配布文書に記載している。 ■ 理念・方針を会議や研修において取り上げ職員と話し合い共有化を図っている。 ■ 理念・方針の実践を日常の会議等で話し合い実行面の反省をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園の理念や基本方針については事業計画書への明示のほか事務所、相談室、玄関入口への掲示を通して職員や保護者の目に留まるようにしています。施設運営方針や法人理念5カ条については職員入職時に説明し理解が深まるように取り組んでいます。また、人事考課表の中で理念5ヶ条の実践について自己評価する仕組みを設けるほか、今年度は理念5ヶ条について穴埋め方式でのテストを実施し共通理解が深まるように取り組んでいます。</p>	
3 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 契約時等に理念・方針が理解し易い資料を作成し、分かり易い説明をしている。 ■ 理念・方針を保護者に実践面について説明し、話し合いをしている。 ■ 理念・方針の実践面を広報誌や手紙、日常会話などで日常的に伝えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園の理念や基本方針について保護者の理解が深まるような取り組みでは、園のパンフレットや入園のご案内、ホームページに運営方針・保育方針を明記し入園前の見学時や入園時のオリエンテーション時に説明し園の理念や基本方針について保護者の理解が深まるように取り組んでいます。また、オリエンテーション後の個別面談時や入園後に実施する個人面談の際にも適宜説明しています。次年度開園10周年を迎えるにあたり園歌を作る予定としており歌詞の中に理念なども入れていく事も予定しています。</p>	
4 事業計画を作成し、計画達成のための重要課題が明確化されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業計画が具体的に設定され実施状況の評価が行える配慮がなされている。 ■ 理念・基本方針より重要課題が明確にされている。 ■ 事業環境の分析から重要課題が明確にされている。 ■ 現状の反省から重要課題が明確にされている
<p>(評価コメント)</p> <p>2019年度重点項目については事業計画書内に明示しています。全体の保育の専門性を高める事や働きやすさの追求、障害児保育への体制強化小学校との交流を増やしていく事など5つの重点項目を掲げています。「事業計画」の総括については、毎年度末に各クラスからの総括を踏まえて、園長、副園長、副主任を中心に課題の分析を行い、次年度の事業計画に反映しています。</p>	
5 施設の事業計画等、重要な課題や方針を決定するに当たっては、職員と幹部職員とが話し合う仕組みがある。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 各計画の策定に当たっては、現場の状況を把握し、職員と幹部職員が話し合う仕組みがある。 ■ 年度終了時はもとより、年度途中にあっても、あらかじめ定められた時期、手順に基づいて事業計画の実施状況の把握、評価を行っている。 ■ 方針や計画、課題の決定過程が、一部の職員だけでなく、全ての職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育課程や年間指導計画等は、各クラスごと年度末に総括を踏まえた上で全職員と話し合い各年齢ごとに具体的事業活動が盛り込まれた計画を策定しています。事業計画の評価についても各クラスごとで実施している年度末の総括を行う際に実施状況の把握及び評価を行っています。年度末の総括により全職員間で各計画に対する進捗状況や今後の課題を共有する事ができています。今後に向けては事業計画書について全職員にも配布し共有できると良いと考えます。</p>	
6 理念の実現や質の向上、職員の働き甲斐等に取り組みに取り組み指導力を発揮している。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 理念・方針の実践面の確認等を行い、課題を把握し、改善のための具体的な方針を明示して指導力を発揮している。 ■ 職員の意見を尊重し、自主的な創意・工夫が生れ易い職場づくりをしている。 ■ 研修等により知識・技術の向上を図り、職員の意欲や自信を育てている。 ■ 職場の人間関係が良好か把握し、必要に応じて助言・教育を行っている。 ■ 評価が公平に出来るように工夫をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>働きやすい職場環境に向けては、副園長、主任が中心となり日頃から職員の意見や要望を収集しています。特に産前産後休業、育児休業、リフレッシュ休暇の取得については毎年度継続して取り組んでいます。有給休暇についても交代でバランスよく取得しています。研修については、全職員に「目標シート」を配布し、参加したい研修の要望を確認しています。外部研修への参加についても市の助成なども効果的に活用することで職員の参加率も高まってきました。</p>	
7 施設の全職員が守るべき倫理を明文化している。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 法の基本理念など踏まえて、保育所の倫理規程があり、職員に配布されている。 ■ 従業者を対象とした、倫理及び法令遵守に関する研修を実施し、周知を図っている。 ■ プライバシー保護の考え方を職員に周知を図っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>守るべき法や規範、倫理等については就業規則に明記しています。就業規則は事務所に保管し職員の閲覧も可能としています。倫理及び法令遵守に関する研修については形式的とまでは至ってはいませんが、園内の保育改善委員会より日頃から不適切なケアを防ぐための注意を呼び掛けています。今後は不適切なケアを防ぐための勉強会やマニュアル作りなどを通じてさらに職員の意識が高まる取り組みについても期待します。</p>	

8	人事方針を策定し、人事を計画的・組織的に行い、職員評価が客観的な基準に基づいて行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■人材育成方針が明文化されている。 ■職務権限規定等を作成し、従業者の役割と権限を明確にしている。 ■評価基準や評価方法を職員に明示し、評価の客観性や透明性の確保が図られている。 ■評価の結果について、職員に対して説明責任を果たしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員育成の基本方針については事業計画書内に明文化しています。今年度は法人内に人材育成委員会が発足し、人材育成に向け法人全体で取り組む体制が構築されています。経営層の役割や責任範囲については「事務分掌表」に明示しており業務分担表によって具体的な業務内容や決裁権限について明確にしています。職員評価については「目標チャレンジシート」、「目標達成状況シート」による目標管理制度、人事考課表を導入しています。適正な評価に向けて法人内で評価者向けの研修も実施しています。</p>		
9	事業所の就業関係の改善課題について、職員(委託業者を含む)などの現場の意見を幹部職員が把握し改善している。また、福利厚生に積極的に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ■担当者や担当部署等を設置し職員の有給休暇の消化率や時間外労働のデータを、定期的にチェックしている ■把握した問題点に対して、人材や人員体制に関する具体的な改善計画を立て実行している。 ■職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。 ■職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生事業を実施している。 ■育児休暇やリフレッシュ休暇等の取得を励行している。
<p>(評価コメント)</p> <p>職員の勤怠状況については園長、副園長が把握しており、残業の発生が無いように日々努め定時の退勤に努めています。有給休暇も交代で取得できる体制としています。産前産後休暇や育児休暇制度を活用する職員も多く、有給休暇の取得率も年間を通して高い取得率となっています。さらに年間3日間のリフレッシュ休暇の取得も可能とし取得率は100%となっています。福利厚生では職員互助会を通じた慶弔金の上乘せや親睦を図るためのレクリエーション活動、インフルエンザ予防接種の半額負担など総合的な福利厚生事業を実施しています。</p>		
10	職員の教育・研修に関する基本方針が明示され、研修計画を立て人材育成に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ■中長期の人材育成計画がある。 ■職種別、役割別に能力基準を明示している。 ■研修計画を立て実施し、必要に応じて見直している。 ■個別育成計画・目標を明確にしている。 ■OJTの仕組みを明確にしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>人材育成計画については事業計画書内に明示しています。園では「目標チャレンジシート」、「目標達成状況シート」による目標管理制度の導入、人事考課表による評価査定を導入し、職員との個人面談を通じて結果をフィードバックしています。法人内に人材育成委員会も発足し法人全体で職員の育成に力を入れています。研修については園内外の研修を中心に職員のスキル向上に努めています。OJTについては最初は主任が中心となりその後クラスサプリーダーが中心となり新人職員の指導を行っています。</p>		
11	施設の全職員を対象とした権利擁護に関する研修を行い、子どもの権利を守り、個人の意思を尊重している。	<ul style="list-style-type: none"> ■法の基本方針や児童権利宣言など研修をしている。 ■日常の援助では、個人の意思を尊重している。 ■職員の言動、放任、虐待、無視など行われることの無いように、職員が相互に振り返り組織的に対策を立て対応している。 ■虐待被害にあった子どもがいる場合には、関係機関と連携しながら対応する体制を整えている。
<p>(評価コメント)</p> <p>子どもに対して不適切な対応がないように、職員の言動や行動等職員が相互に指摘し合える環境を日常的に整えています。さらに保育改善委員会が中心となり子どもへの対応方法について等適宜事例等も持ち合わせながら話を進めています。虐待被害があった子どもがいる場合には児童相談所等の関係機関と連携して対応していく体制としています。法人内の保育部門において児童虐待委員会を設置し現在権利擁護に向けたマニュアル作成を進めています。</p>		
12	個人情報保護に関する規定を公表し徹底を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ■個人情報の保護に関する方針をホームページ、パンフレットに掲載し、また事業所等内に掲示し実行している。 ■個人情報の利用目的を明示している。 ■利用者等の求めに応じて、サービス提供記録を開示することを明示している。 ■職員(実習生、ボランティア含む)に研修等により周知徹底している。
<p>(評価コメント)</p> <p>個人情報保護に関する方針については、「入園の説明確認、説明確認書」内に「プライバシーポリシー」を明示しています。個人情報の利用目的についても「重要事項説明書」に示し入園前の説明会時に保護者に説明し説明後「入園の説明確認・説明確認書」に同意を受領しています。職員に対しては入職の際に誓約書において子どもの個人情報の取り扱いについて周知徹底を図り実習生についても誓約書において周知しています。</p>		
13	利用者満足度の向上を意図した仕組みを整備し、取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ■利用者満足を把握し改善する仕組みがある。 ■把握した問題点の改善策を立て迅速に実行している。 ■利用者・家族が要望・苦情が言いやすい雰囲気を作っている。 ■利用者等又はその家族との相談の場所及び相談対応日の記録がある。
<p>(評価コメント)</p> <p>保護者満足度については、毎年第三者評価の保護者アンケートの実施を通じて意向や要望等を把握、確認しています。園内でも行事後のアンケート調査や個人面談を通じて保護者の意向や要望を確認しています。アンケート調査以外では年2回保護者面談を実施し園に対しての要望や意見、家庭での過ごし方等を確認しています。園内には意見箱を設置しており、保護者の方が意見や要望等を気軽に表出できる環境を築いています。</p>		
14	苦情又は意見を受け付ける仕組みがある	<ul style="list-style-type: none"> ■保護者に交付する文書に、相談、苦情等対応窓口及び担当者が明記され説明し周知徹底を図っている。 ■相談、苦情等対応に関するマニュアル等がある。 ■相談、苦情等対応に関する記録があり、問題点の改善を組織的に実行している。 ■保護者に対して苦情解決内容を説明し納得を得ている。
<p>(評価コメント)</p> <p>相談、苦情対応に関するマニュアルについては苦情対応マニュアルを整備しているほか「利用者からの苦情解決の取り組みに関する実施規程」を作成しています。保育園のしおりには、苦情や相談に関する内容を明記し、入園説明会を通じて保護者の方に苦情窓口を周知しています。苦情を受け付けた際には「苦情受付簿」に内容を記載し再発防止策を全体で講じ、苦情解決内容についても保護者に丁寧に説明していく体制としています。</p>		

15	保育内容について、自己評価を行い課題発見し改善に努め、保育の質の向上を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育の質について自己評価を定期的に行う体制を整備し実施している。 ■ 保育の質向上計画を立て実行し、PDCAサイクルを継続して実施し恒常的な取り組みとして機能している。 ■ 自己評価や第三者評価の結果を公表し、保護者や地域に対して社会的責任を果たしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>法人で統一した職員目標シートやチャレンジシートを活用し職員個々の目標を明確にしています。毎年4月に目標を立て、年度途中の振り返りを経て、年度末に達成状況を確認しています。保育の質については年間計画、月案、週案の定期的な振り返りのほか毎年第三者評価を受審しており、自己評価についても毎年実施し保育の質及び運営状況に関しての振り返りを行っています。第三者評価結果についてもインターネット上に公表し、園内でも開示を求められた際には開示できる体制としています。</p>		
16	提供する保育の標準的実施方法のマニュアル等を作成し、また日常の改善を踏まえてマニュアルの見直しを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務の基本や手順が明確になっている。 ■ 分からないときや新人育成など必要に応じてマニュアルを活用している。 ■ マニュアル見直しを定期的に行っている。 ■ マニュアル作成は職員の参画のもとに行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>「愛和元町保育園マニュアル」として各種業務等のマニュアルを整備しています。医務や保育に必要な各種マニュアルを職員間で分担して作成を進めたことで職員の理解も深まっています。必要時に活用できるように事務所に設置していつでも確認できるようにしています。マニュアルの見直しも担当の職員を決めて定期的に行うように取り組んでいます。全職員が参画しマニュアル作成を行っています。</p>		
17	保育所利用に関する問合せや見学に対応している。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 問合せ及び見学に対応できることについて、パンフレット、ホームページ等に明記している。 ■ 問合せ又は見学に対応し、利用者のニーズに応じた説明をしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>問い合わせや見学の要望には柔軟に対応しています。問い合わせ及び見学に対応できる事については、ホームページや園のパンフレットに明記しています。園の見学対応は、副園長が対応しています。見学時は子どものプライバシーや保育に配慮しながら園全体を見学して頂き、園の特色や各クラスの取り組みを実際に見て頂き、具体的に説明しています。土曜日、日曜日の見学にも対応していますが、子どもの様子が確認できない事についてを予め確認し、了解を得て見学をして頂くようにしています。</p>		
18	保育の開始に当たり、保育方針や保育内容等を利用者に説明し、同意を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育の開始にあたり、理念に基づく保育方針や保育内容及び基本的ルール等を説明している。 ■ 説明や資料は保護者に分かり易いように工夫している。 ■ 説明内容について、保護者の同意を得るようにしている。 ■ 保育内容に関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している。
<p>(評価コメント)</p> <p>毎年、2月下旬から3月初旬にかけて4月入園児のオリエンテーションを実施しています。入園に向けた説明では、入園のしおりを活用し、保育方針や保育内容、基本的ルール等を説明しています。説明後「入園の説明確認書」において重要事項説明書や個人情報の取り扱いについての同意を受領しています。全体での説明後に担当の保育士と個別に面談する時間を設け、保護者が作成した児童票の確認のほか、入園に向け準備が必要な物等を具体的に説明しています。</p>		
19	保育所の理念や保育方針・目標に基づき保育課程が適切に編成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育課程は、保育理念、保育方針、保育目標及び発達過程などが組み込まれて作成されている。 ■ 子どもの背景にある家庭や地域の実態を考慮して作成されている。 ■ 施設長の責任の下に全職員が参画し、共通理解に立って、協力体制の下に作成されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育課程は、保育理念、事業運営方針、保育方針、保育目標を組み込み作成するほか、地域や保護者の実態を考え子育て支援についても組み込んでいます。保育課程は前年度の2月に各クラスが見直しを行っています。乳児会議、幼児会議において副主任が中心となり全職員からの意見を集約し、翌年度の保育課程に反映することができています。</p>		
20	保育課程に基づき具体的な指導計画が適切に設定され、実践を振り返り改善に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と短期的な指導計画が作成されている。 ■ 3歳児未満、障害児等特別配慮が必要な子どもに対しては、個別計画が作成されている。 ■ 発達過程を見通して、生活の連続性、季節の変化を考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいや内容が位置づけられている。 ■ ねらいを達成するための適切な環境が構成されている。 ■ 指導計画の実践を振り返り改善に努めている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育課程に基づき月間指導計画を策定しており、毎月25日までに園長、副園長が確認、修正を行い、具体的な実施に向けて準備を進めています。各クラスの指導計画は担任が作成しますが、作成手順については園長、副園長が繰り返し助言や確認を行い、園の保育課程の「ねらい」や各領域を踏まえた指導計画を立案しています。0、1、2歳児は子ども一人ひとりの個別指導計画を作成しています。特別配慮が必要な子どもに対しても個別指導計画を策定し、全体で共有しながら保育を進めています。</p>		
21	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもの発達段階に即した玩具や遊具などが用意されている。 ■ 子どもが自由に素材や用具などを自分で取り出して遊べるように工夫されている。 ■ 好きな遊びができる場所が用意されている。 ■ 子どもが自由に遊べる時間が確保されている。 ■ 保育者は、子どもが自発性を発揮できるような働きかけをしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>毎年年度末に各クラスに必要なおもちゃについての要望を確認しています。各クラスで子どもの発達段階に即した玩具や遊具について検討しています。また各クラスにどのおもちゃがあるかについて表にまとめ管理を行っています。子どもたちが好きな玩具や遊具を活用し、自由に遊べる時間も確保しています。3、4、5歳児は2階で共用で遊び込めるコーナーを設けています。3歳と5歳児クラスでは廃材を使用した作品作りを行うなど、子どもが自発性を発揮できるような働きかけもおこなっています。</p>		

22	身近な自然や地域社会と関われるような取組みがなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもが自然物や動植物に接する機会を作り、保育に活用している。 ■散歩や行事などで地域の人達に接する機会をつくっている。 ■地域の公共機関を利用するなど、社会体験が得られる機会をつくっている。 ■季節や時期、子どもの興味を考慮して、生活に変化や潤いを与える工夫を日常保育の中に取り入れている。
<p>(評価コメント)</p> <p>春のピクニックやお別れ遠足で動物園や水族館に出かけたり、散歩で近隣の公園を活用、市内にある子どもの広場を活用し、子どもたちが広い場所で走り回ったり、自然物や動植物と触れ合う事ができる機会を定期的につけています。また年長児のお泊り保育でカレーをみんなで作り社会体験が得られる機会も設けています。園の納涼祭には地域の方も招待し民生委員や近隣の住民の参加もあり地域の方との交流を図っています。</p>		
23	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども同士の関係をより良くするような適切な言葉かけをしている。 ■けんかやトラブルが発生した場合、危険のないように注意しながら、子供達同士で解決するように援助している。 ■順番を守るなど、社会的ルールを身につけていくように配慮している。 ■子どもが役割を果せるような取組みが行われている。 ■異年齢の子どもの交流が行われている。
<p>(評価コメント)</p> <p>3、4、5歳児による毎週の仲良し会を定例化しているほか、ふるまい給食やおやつ作りで交流を図ったり、3歳児と5歳児、3歳児と4歳児で公園に出かける等異年齢の交流も日常的に行っています。4.5歳児においては年に一度の交通安全指導において交通のルールを学んだり、子どもの役割を果たせるような取組みでは、当番活動があり、布団敷きや給食準備等の当番活動を通じて順番を守る等の社会的なルールが身につくように取り組んでいます。ケンカやトラブルがないように日頃から保育士注意深く見守っていますが、そうした事態が発生した際には極力子どもたち同士で解決できるように援助しています。</p>		
24	特別な配慮を必要とする子どもの保育	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども同士の関わりに対して配慮している。 ■個別の指導計画に基づき、きめ細かい配慮と対応を行い記録している。 ■個別の指導計画に基づき、保育所全体で、定期的に話し合う機会を設けている。 ■障害児保育に携わる者は、障害児保育に関する研修を受けている。 ■必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。 ■保護者に適切な情報を伝えるための取組みを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>特別な配慮を必要とする子どもには、個別指導計画を作成し、経過記録、発達記録を作成し全体で共有できる体制としています。担当保育士には優先的に障害児研修、保護者支援の研修に参加できるように努めています。現状担当以外の職員も外部の研修に参加できるように取り組んでいます。特別な配慮を必要とする子どもの保育では必要に応じて市の発達支援センターと連携し、個別の相談や助言を受けながら保育を進めていけるように取り組んでいます。</p>		
25	長時間にわたる保育に対して配慮がなされている。	<ul style="list-style-type: none"> ■引き継ぎは書面で行われ、必要に応じて保護者に説明されている。 ■担当職員の研修が行われている。 ■子どもが安心・安定して過ごせる適切な環境が整備されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>18:30まではクラス担任を配置しており、延長保育への引き継ぎについては書面や口頭で担当の保育士へ申し送りを行い確実に引継ぎを行っています。また各クラス前に設置しているホワイトボードも活用し、その日の取り組みの様子が保護者に確認できるように取り組んでいます。延長保育では異年齢での保育が行われ、必要に応じて補食または夕食を提供し子どもが安心・安定して過ごせるように配慮しています。</p>		
26	家庭及び関係機関との連携が十分図られている。	<ul style="list-style-type: none"> ■一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、子どもの発達や育児などについて、個別面談、保育参観、保育参加、懇談会などの機会を定期的に設け、記録されている。 ■保護者からの相談に応じる体制を整え、相談内容が必要に応じて記録され上司に報告されている。 ■就学に向けて、保育所の子どもと小学校の児童や職員同士の交流、情報共有や相互理解など小学校との積極的な連携を図るとともに、子どもの育ちを支えるため、保護者の了解のもと、保育所児童保育要録などが保育所から小学校へ送付している。
<p>(評価コメント)</p> <p>0、1、2歳児には連絡ノートを活用するほか、送り迎え時における情報交換、各クラス前にはホワイトボードを設置し、その日の取り組み等を伝えています。園の入り口のボードには園から保護者に伝えたい内容の書類を掲示し必要な情報を提供しています。個人面談については希望により随時行う体制としているほか、保育参観や参加についても定期的に行っています。就学に向けては保育要録を作成し小学校に送付するほか、就学に向けてのアプローチカリキュラムも作成しています。</p>		
27	子どもの健康状態、発育、発達状態が適切に把握し、健康増進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの健康に関する保健計画を作成し、心身の健康状態や疾病等の把握・記録され、嘱託医等により定期的に健康診断を行っている。 ■保護者からの情報とともに、登所時及び保育中を通じて子どもの健康状態を観察し、記録している。 ■子どもの心身の状態を観察し、不適切な養育の兆候や、虐待が疑われる場合には、所長に報告し継続観察を行い記録している。
<p>(評価コメント)</p> <p>園では看護師2名を配置し、看護師を中心に前年度の取り組みなども踏まえたうえで年度ごとに「健康管理保健計画」を策定しています。保健計画に基づき園では嘱託医による内科検診、年2回の健康診断、歯科検診を実施しています。子どもの心身等の状況については日常的に確認を行い、必要に応じて子ども家庭支援センターとの連絡を密に取り、今年度より月ごとに状況報告書を提出しています。</p>		
28	感染症、疾病等の対応は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態等に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医や子どものかかりつけ医等と相談し、適切な処置を行っている。 ■感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めている。 ■子どもの疾病等の事態に備え、医務室等の環境を整え、救急用の薬品、材料等を常備し、適切な管理の下に全職員が対応できるようにしている。
<p>(評価コメント)</p> <p>保育中に体調不良が発生した際には、保護者や、かかりつけ医、嘱託医に迅速に連絡を入れ、適切な処置を図っています。保育中37.5度以上の発熱で保護者に連絡を入れ、38度を超えたら保護者にお迎えを依頼しています。園内には医務室を完備し、緊急に備え、救急用の薬品なども完備しています。感染症予防に向けては園内消毒の徹底、ほけんだよりで感染症流行時期には注意喚起を呼び掛けるなど園でできる事は全て実施しています。感染症流行時期には職員はマスクの着用を徹底し拡大防止に努めています。</p>		

29	食育の推進に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> ■食育の計画を作成し、保育の計画に位置付けるとともに、その評価及び改善に努めている。 ■子どもが自らの感覚や体験を通して、自然の恵みとしての食材や調理する人への感謝の気持ちが育つように、子どもと調理員との関わりなどに配慮している。 ■体調不良、食物アレルギー、障害のある子どもなど、一人一人の子どもの心身の状態等に応じ、嘱託医、かかりつけ医等の指示や協力の下に適切に対応している。 ■食物アレルギー児に対して誤食防止や障害のある子どもの誤飲防止など細かい注意が行われている。 ■残さず食べることや、偏食を直そうと強制したりしないで、落ち着いて食事を楽しめるように工夫している。
<p>(評価コメント)</p> <p>食育の計画に関しては、「食育活動(実施計画・実績報告)書」を策定しています。毎月一度食育の日を設け、季節に合わせた献立などを通じて身近なものから興味が広がるように取り組んでいます。夏場にはプランターを活用して野菜栽培に取り組んだり、ふるまい給食として、4歳児が仕込んだ味噌を5歳児が豚汁にして4歳児にふるまう等の取り組みを通じて食事の楽しみにつなげています。食物アレルギー児に対しては、「食物アレルギー既往歴一覧」を作成し毎月アレルギー状況を確認し変更があれば随時更新しています。</p>		
30	環境及び衛生管理は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の設備及び用具等の衛生管理に努めている。 ■子ども及び職員が、手洗い等により清潔を保つようにするとともに、施設内外の保健的環境の維持及び向上に努めている。 ■室内外の整理、整頓がされ、子どもが快適に過ごせる環境が整っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園内の温湿度については適切な状態に保持しており、玩具や遊具についても毎月安全係担当職員が、月に一度園内の危険な場所や玩具などの点検を行っています。感染症予防に向け手拭きタオルについてはペーパータオルを使用し、コップは各クラスに設置している滅菌庫で消毒しています。園内の掃除は日々徹底され、園内は清潔に保たれています。「園内は清潔で整理された空間になっていると思いますか」の質問では「はい」と回答した割合が高い結果となっています。</p>		
31	事故発生時及び事故防止対策は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■事故発生時の対応マニュアルを整備し職員に徹底している。 ■事故発生原因を分析し事故防止対策を実施している。 ■設備や遊具等保育所内外の安全点検に努め、安全対策のために職員の共通理解や体制づくりを図っている。 ■危険箇所の点検を実施するとともに、外部からの不審者等の対策が図られている。
<p>(評価コメント)</p> <p>「緊急時救急対応マニュアル」を整備し、事故発生時や緊急時の対応についてを統一し職員に周知しています。園内外での事故については、事故報告書において発生状況と保育の状況、発生後の処置、保護者への連絡についてを記録に残し、職員会議で全体に周知を図り再発防止策を講じています。事故につながる恐れのある危険事例については「ヒヤリハット」に記録する仕組みとし書式の簡素化に努め積極的な提出を促しています。また、「安全・美化チェック報告書」を作成し毎月各クラスから現状の報告を受けています。</p>		
32	地震・津波・火災等非常災害発生時の対策は適切に行われている。	<ul style="list-style-type: none"> ■地震・津波・火災等非常災害発生に備えて、役割分担や対応等マニュアルを整備し周知している。 ■定期的に避難訓練を実施している。 ■避難訓練は消防署や近隣住民、家庭との連携のもとに実施している。 ■立地条件から災害の影響を把握し、建物・設備類の必要な対策を講じている。 ■利用者及び職員の安否確認方法が決められ、全職員に周知されている。
<p>(評価コメント)</p> <p>地震や津波、火災等の災害に備え園内では毎月避難訓練を実施しています。津波対策では、避難先である近隣の小学校の協力も得て、高所への避難訓練も実施しています。災害時のマニュアルや防災委員会が設置されており職員の役割分担についても明確にしています。避難訓練の結果については保護者にもメールで配信しています。また災害に備え園内には3日分の非常食を備えています。現在法人全体で非常災害時等に備えて事業継続計画(BCP)を策定しています。</p>		
33	地域ニーズを把握し、地域における子育て支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の子育てニーズを把握している。 ■子育て家庭への保育所機能を開放(施設及び設備の開放、体験保育等)し交流の場を提供し促進している。 ■子育て等に関する相談・助言や援助を実施している。 ■地域の子育て支援に関する情報を提供している。 ■子どもと地域の人々との交流を広げるための働きかけを行っている。
<p>(評価コメント)</p> <p>園内には子育て支援センターや一児保育室を常設しており、看護師や栄養士、保育士等の専門職員による子育て等に関する相談、助言や援助を実施しています。子育て支援センターでは「のびのび通信」を毎月作成しており、様々な行事を計画し、地域の交流の場を提供しています。地域の方々との交流を広げていくために多種多様なイベントを実施し、年間で延べ2355人の親子が参加しています。</p>		